

令和4年度 学校体育実技指導者養成研修（柔道） 実施要項

- 1 目的 中・高等学校、支援学校での授業や部活動における教員の指導力向上をめざして、理論と指導法、事故防止、武道の伝統的な考え方について学ぶとともに、受講者の技能に応じた実技指導を行い、技術の習得を図る。
- 2 対象 小・中学校、義務教育学校、高等学校（府立、岸和田市立、東大阪市立）、府立支援学校の教職員

募集人数 30名

3 内容等

回	日時	内容	講師等
1	8月17日(水) 13:30~16:30	指導力を高めるための理論と実技 —理論— ・柔道の特性 ・事故防止及び安全	公立学校教員等
2	8月22日(月) 13:30~16:30	・技能に応じた指導のポイント ・授業及び部活動等の指導法 ・指導上の問題点と解決策	
3	8月23日(火) 13:30~16:30	—実技— ・基本動作 ・投の形 ・投げ技 ・連絡変化技・固め技	
4	8月24日(水) 13:30~16:30	・自由練習 ・試合及び審判法 〔講義・研究協議・実習〕	

※太字の時間帯は、通常時間帯と異なるので注意してください。

- 4 会場 エディオンアリーナ大阪（大阪府立体育会館）（大阪市浪速区難波中3丁目4番36号）

Osaka Metro 御堂筋線「なんば」駅下車、5番出口から南西へ約350m

- 5 担当室 高等学校教育推進室

- 6 その他
- (1) 受付は30分前から。
 - (2) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。
 - (3) 自家用自動車・バイク等は会場に駐車できません。
 - (4) 事前に準備しておく事項があるので、シラバスを必ず確認すること。
 - (5) 受講推薦者名簿のコメント又は備考欄に現在の級・段位の有無を必ず記入すること。（「〇段取得済み」、ない場合は「級・段位なし」）

一括募集2

令和4年度 学校体育実技指導者養成研修（柔道） シラバス

3292

1 目的

中・高等学校、支援学校での授業や部活動における教員の指導力向上をめざして、理論と指導法、事故防止、武道の伝統的な考え方について学ぶとともに、受講者の技能に応じた実技指導を行い、技術の習得を図る。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標														
	I			II			III			IV			V		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期															
第3期															
第2期											○				
第1期											○				
第0期															

3 研修課題とねらい等

回	研修課題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1 ・ 2 ・ 3 ・ 4	柔道における安全管理・事故防止	安全に十分留意する指導のポイントについて理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> 授業や部活動指導において安全に十分留意する指導やポイントを習得する。 事故防止においては、柔道における事故事例やけがの発生例をもとに指導における注意点を理解する。 	準備物 柔道着、タオル、飲料水
	指導力を高めるための理論	柔道の指導教員としての資質向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 柔道の特性 事故防止及び安全 技能に応じた指導のポイント 授業及び部活動等の指導法 指導上の問題点と解決策 	
	指導力を高めるための実技	柔道の指導教員としての資質向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 基本動作 投の形 投げ技 連絡変化技 固め技 自由練習 試合及び審判法 	
	武道の伝統的な考え方	伝統文化としての側面を、授業や部活動で指導することができるように理解を深める。	相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を理解し、互いに助け合い教え合うことの必要性を学ぶ。	
	指導教員としての資質向上	4日間にわたる講義及び実技を通して、資質の向上を図る。	理論、実技で学んだ知識を活用して授業の構想や単元計画を考え、各学校での授業や部活動指導に生かす。	

